

□議員名：山田 伸幸

1 介護保険制度の改悪から市民を守る施策を

論点	厚労省が進める介護制度改悪の先取りとして、自治体でモデル事業を行い、ひどい実態が明らかになっている。市はつかんでいるか。
回答	要支援に必要なサービスを自治体が担い、ボランティア団体などが実施しているがボランティアの負担が大きくなっている実態も報告されている。

論点	介護を支える事業として、介護ボランティアポイント制度があるが、ポイント制度を発展させる方向の一つとして地域通貨がある。どのように検討されているのか。
回答	商業的な促進という面もあるので、市内の商工団体にも、協力の要請をしている。ポイント制度で上回った部分を地域通貨で支給するという手法などを検討中である。

2 公民館への正規職員配置について

論点	公民館に4月から正規職員が配置され、評価が高まっている。正規職員の配置で市民との深いふれあいができるようになっていると聞いているが、評価はどうか。
回答	配置された職員は、市民とのふれあう場には積極的に関与し、交流が深まっている。

論点	公民館では各種団体などの会費など多額の現金を扱っている。低賃金で待遇の悪い臨時職員が扱うことは問題があるのでは。
回答	多額の現金を預かり金として扱う実態がある。管理方法について検討する。

3 公園通り周辺の渋滞対策について

論点	公園通り周辺では渋滞した際に、地域内道路へ車が進入し、事故が発生している。また道路拡張に向けて県が対策に動き出しているが、1番のネックとなっている踏切拡張のためにJRに市から働きかけ
----	---

	られないか。
回答	J R 西日本からセメント町踏切の拡張に協力する回答があった。

論点	渋滞を避けるために大通りから地域内の狭い道路に入り抜け道として利用している実態がある。これらの車は速度を落とさず危険である。実際に交差点で出会い頭の事故も複数起きている。住民を守るために市道を管理する市として対策が必要ではないか。
回答	路面にスピード落とせの表示をするなど色々な手法を検討してみたい。